

(様式3) 目的設定表(令和03 年度) 予算区分: 通常				要求区分: 令和 3年度 6月補正予算				確定日(令和03 年 07 月 08 日)								
事業コード	04010112			政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ 人・ものの交流拡大戦略									
事業名	ウィズコロナにおける魅力あるコンテンツづくり推進事業			施策コード	01	施策名	地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化									
				指標コード	01	施策目標(指標)名	国内外からの観光客に選ばれる誘客コンテンツづくりの推進									
部局名	観光文化スポー	課室名	観光振興課	班名	誘客推進班		(tel)	2265	担当課長名	佐々木 一生	担当者名	佐々木 直				
評価対象事業(計画)の内容													事業年度	令和03年度	～	令和05年度
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 新型コロナウイルス感染症の影響により旅行スタイルが変化する中、誘客のためには体験型・滞在型観光や少人数ツアー等のプレミアムコンテンツの提供が必要となっていることから、秋田ならではの資源を活用した、興味のある人だけで楽しまれているような目新しいコンテンツを訴求力の高い商品として磨き上げるとともに、事業者による予約サイト掲載などの販路確立の支援を実施し、商品の自走化及びコンテンツの体験を目的とした外国人旅行者等の誘客を図る。				3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) コンテンツの独自性や訴求力を高め、予約経路の確立まで行うことで、旅行者に「この体験をするために秋田に行ってみたい」と思わせ、秋田を旅先として積極的に選んでもらうことができるようにする。 (重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望												
				4. 目的達成のための方法												
				①事業の実施主体 県												
2. 住民ニーズの状況 ①ニーズを把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民 (時期: R02 年 12 月) ②ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 □ ヒアリング □ インターネット ■ その他の手法 (具体的に 観光白書や各種調査) ③ニーズの具体的内容 アウトドアや少人数旅行、滞在型旅行に関するニーズが高まっている。				②事業の対象者・団体 観光事業者等												
				③達成のための手段 ワークショップ、モニターツアー、OTA掲載等の販路の確保												
				④比較した代替手段及び選択した手段の有効性 訴求力のあるコンテンツ造成、販売には当該手法が最適である。												
◎把握していない場合の理由及び今後の方針																
①理由																
②今後の方針																
5. 事業の全体計画及び財源																
順位	事業内訳			左の説明			03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	全体(最終)計画			
01	新しい旅行スタイルに対応したコンテンツ商品化支援事業			訴求力の高い体験型コンテンツ等の造成、販路の確保			13,443	13,443	13,443	0	0	0	40,329			
財源内訳		左の説明			13,443	13,443	13,443	0	0	0	0	40,329				
国庫補助金		地方創生推進交付金			6,674	6,674	6,674	0	0	0	0	20,022				
県の債					0	0	0	0	0	0	0	0				
その他の					0	0	0	0	0	0	0	0				
一般財源					6,769	6,769	6,769	0	0	0	0	20,307				

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		体験型コンテンツのO T A掲載数の増加	
	指標名	造成した体験型コンテンツのO T A掲載数	指標の種類
	指標式	造成した体験型コンテンツのO T A掲載数	☒ 成果指標 ☐ 業績指標

①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指 標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
目標a		0	4	13	13	0	0	
実績b	0	0	②データ等の出典					
東 北	0	0	各OTAサイト					
全 国	0	0						

③把握する時期 ● 当該年度中03月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月

指標Ⅱ	指標名								指標の種類
	指標式								●成果指標 ○業績指標
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	0	0	0	0	0	
実績b	0	0	②データ等の出典						
東 北	0	0							
全 国	0	0							
③把握する時期 ○当該年度中 月 ○翌年度 月 ○翌々年度 月									

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性

新型コロナウイルス感染症の影響により旅行スタイルが変化する中、誘客のためには体験型・滞在型観光や少人数ツアー等のプレミアムコンテンツの提供が必要となっている。

住民ニーズに照らした事業の必要性

コロナ収束後は、急速な旅行市場の活発化が見込まれることから、旅行者が少なく観光事業者がコンテンツ造成に対応可能な時間が確保できる時期に実施する必要がある。

事業の県関与の必要性

☐ 法令・条例上の義務 ☐ 内部管理事務 ☐ 県でなければ実施できないもの

■ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

観光事業者や市町村関係者を集め広域的に事業を行うことが必要であるため、県レベルでの実施が必要である。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
-----------	-----------------------

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
-----------	-----------------------

○重点事業 ○その他